

地域情報コーナー①

道具の展示室

八月二〇日に開館した西原町立図書館には、町民のみなさんいろいろな観点から西原町を「見て・聞いて・知って」いただく地域情報コーナーがあります。



週末になると子どもたちでいっぱいです

コーナーに設置されたパソコンをタッチすると、ふたつの入口があらわれます。ひとつは「もつと知ろうにしはら」で「道具の展示室」「にしはら映画館」「町史を読む」「生き物

と暮らし」「移民資料館」にわかれており、動画、静止画、音声資料などから、にしはらを知る事ができます。クイズとパズルに挑戦できるおまけもついていますよ。

もうひとつは、「にしはらの空中さんぽ」で、空中写真や地図をならべたり重ねたり立体化しながら、にしはらのまちのうつりかわりや、文化財の位置などを知ることが出来ます。また、さんぽ道コースの映像資料（動画）をみたり、地名の音声をきくこともできます。

タッチパネル形式で画面に触れるだけで簡単に操作でき、にしはらについて楽しく学んでもらえればという思いを込めて作成しました。

今回は、「道具の展示室」をのぞいてみましょう。



民俗・歴史・考古・自然にわかれています

カマイ焼



一九五五（昭和三〇）

年ごろに、大城勝治氏によって字内間のカヤブチ御殿近くから発見されたカマイ焼は、保存状態がよく、貴重な資料として町の文化財に指定されています。

（コーナー中央のガラスケースに入っているよ！）

砂糖車



サトウキビをしぼる時に使います。現在では完全に姿を消してしまいました。

サトウキビ栽培がさかんな西原町では、かつて各集落に数カ所のサターヤ（製糖場）があり、このサターヤを使用するか、組によってわかっていました。（幸地児童公園内でも見れるよ！）

印部土手石



ハル石ともいいます。琉球王国時代に王府が土地の測量を行うために作られました。よくみると、小字名などが彫られています。

（幸地児童公園内でも見れるよ！）

図書館にて町史販売中!

『西原町史』『文献資料』『戦時記録』『民俗』『考古』『移民』『産業』『民話』の各巻のほか、「西原町の自然」など付属刊行物は、図書館（町史編集係：944-4998）で購入できます!

道具の展示室は、これまで町民のみなさんから寄贈していただいた道具や町史編集係が独自に収集した資料をもとに作成されています。道具を通して人々の生活の様子にふれることができるよう、今後も資料の収集と編集作業を行ってまいりますので、町民の方々のご協力よろしくお願います。